

# ICTの活用による政府の自己変革について



行政管理局行政情報システム企画課長

橋本 敏

Hashimoto Satoshi

昭和54年 4月 行政管理庁採用  
東北管区行政監察局  
昭和61年10月 公正取引委員会事務局経済部調整課  
平成18年 1月 行政管理局行政情報システム企画課  
平成19年 7月 行政評価局年金記録問題検証委員会  
事務局  
平成20年 1月 内閣官房情報通信技術(IT)担当室  
平成24年 7月 現職

## 電子政府の推進

国民生活や社会経済活動において、ICT（情報通信技術）の利用は不可欠なものとなっていますが、行政においても例外ではありません。今や、人・予算とともに情報システム無しでは行政の運営が成り立たなくなっています。

電子政府の推進については、ICTの活用により、便利で利用者負担の少ない行政サービスや行政運営の効率化を図ることを目的として、先進諸外国においても重点的に取り組まれています。我が国においても、ICT戦略や成長戦略などの議論の中で電子政府の推進が重要なテーマの一つとなっています。

総務省は、電子政府の推進において政府の中核的な役割を担っています。具体的な仕事としては、業務やシステムの見直しのための各府省共通のルール・指針の企画、各府省が共通利用するシステムや政府のクラウド基盤である政府共通プラットフォームの整備・運用等に取り組んでいます。

## 若い頃の失敗

大型電子計算機を運用する施設で働いていた係員時代のことです。残業で、夜間にコンピュータを利用していた時のこと、いざ停止させる段階になって、これまで見たこともないメッセージが画面に赤く表示されました。いろいろ悪戦苦闘しましたが、結局止めることが出来ずに翌朝まで稼働させ、当時の先輩、上司に叱られた経験があります。この失敗は一例ですが、こうした失敗、経験の積み重ねが今の自分の糧になっていると思っています。

## 包容力のある職場

これまで、様々な政府横断的なプロジェクトの企画、推進に携わってきました。今までの経験を通じて感じている総務省の良さは、厳しいながらも、失敗に対して包容力のある先輩・上司をはじめとして、行政管理、電気通信、地方自治等と扱う分野が広い総務省ならではの、懐が深い職場の雰囲気です。

このような職場環境で、皆さんは様々な仕事を経験できるはずです。是非、一緒に働きましょう。